

目標設定の基本的な考え方について（案）

- 基本理念の実現に向け、10年後の平成33年度を見据え、区民にとって分かりやすい目標指標と挑戦的かつ実現可能な目標値を設定する必要があります。

- 循環型社会形成のために最も優先されるべきは発生抑制であるとの国の基本的方針を踏まえ、発生抑制に関する指標として、「総排出量（ごみと資源の総量）」を新たに目標指標とします。

- 現行計画に引き続き、「ごみ量」と「リサイクル率」を目標指標とします。

- 「ごみと資源の総量」及び「ごみ量」の数値目標については、従来の総量による目標値ではなく、人口の増減に左右されない区民1人1日当たりの削減率を新たな目標値とする考え方もあります。